

公共交通の4つのメリット

環境に優しい

二酸化炭素の排出量は、バスであれば自動車の約3分の1、電車であれば約6分の1で済みます。



渋滞の緩和

マイカーの利用者が減少すると道路の交通量が減り、通勤時間帯などでの渋滞の緩和につながります。



車の維持費

マイカーの場合、燃料代、保険代、税金など合わせると1日当たり1,500円程度かかります。
※2,000ccのガソリン車を想定



健康の増進

徒歩での移動距離が短いマイカーに比べ、公共交通を利用するとバス停や駅からの移動で歩く機会や距離が増えて日常的に運動量が多くなり、健康増進につながります。



公共交通の利用者の減少は、運行本数の減少につながります。利便性が低下すると、利用者がさらに減少するという連鎖的な悪循環に陥る恐れがあります。そのような状況が続けば、路線そのものもなくなってしまうかもしれません。

そして、最近が高齢者による自動車事故が社会問題化しており、運転免許証の返納も話題になっています。

高齢化が進む中で、交通手段の確保は重大な課題となっています。

また、渋滞や環境、健康などに配慮し、自動車に過度に依存する状態から、公共交通（バス・電車・タクシー）の「かしこい使い分け」を家族や地域の皆さんで一緒に考えていきましょう。



○お問い合わせ

生活安全課 ☎(84)3618 (直通)

公共交通がなくなったら 大変!



どうやって
買い物に行こうかなあ

自転車では遠くて通えないし、送り迎えがないと通学できないよ



公共交通の利用者が減少する中、その存続は交通事業者の努力や行政がすべての公共交通を維持するにも限界があります。

地域住民・交通事業者・行政が、それぞれの立場を尊重しながら、連携・協力して公共交通を維持していくために取り組むことが求められています。